

令和2年度 学校経営計画（6月～・暫定版）

【学校経営の基本的な考え】
 児童・保護者、地域、教職員が地域に誇れる学校づくり ―創立150周年を目指して―
 →これまでの本校の歩みや地域とのつながりを基盤としながら、新しい時代に向けて、教育課程の内外において、新たな関りを模索し、かかわっていただくことを通して、150周年に向けて、本校の歩みをより一層、発展させて行く。

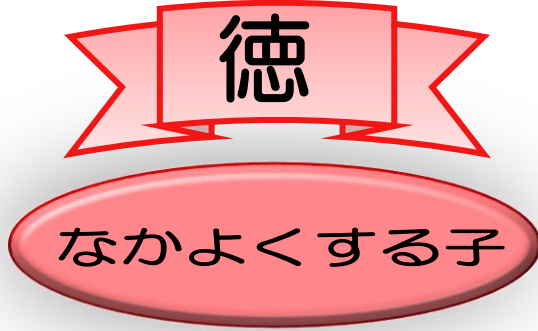
目指す学校像
 児童に付けたい力

「かかわり合い、生きぬく力を育てる学校」
 （主体的に考える力・豊かな心で関わる力・挑戦、努力する力）

教育目標



- ・人の意見を聞く。・自分で考え、行動する。
- ・自分の考えをはっきり表現する。
- ・考えを述べ合う。・対話する。



- ・自分も相手も大切にする。
- ・互いの良さを知り認め合う。
- ・やさしく 思いやりの心をもつ。
- ・話し合い、折り合いを付ける。



- ・体を大切にする。・勇気を出す。
- ・ねばり強く、あきらめない。
- ・努力する。・自分のよさを知る。

目指す児童像

感染症拡大防止の対応を受けた、「新しい学校」の指針（当面）

取組の重点

【知識・技能の確実な習得】
 ○限られた授業時数や授業環境の下、授業の創意工夫により、知識・技能を着実に習得させる。
 【思考力・判断力・表現力の育成】
 ○様々な課題を解決していくために、自ら考え、判断し、よりよく表現したり、よりよく行動したりする実践力を身に付けさせる。

【豊かな心の育成】
 ○困難な時代にあっても、夢や希望を持ち、明るくたくましく生きていこうとする心情や態度を育てる。
 ○これまでの人権教育の成果を基盤とし、新たな人権課題に対しても、柔軟かつ適切に対応した人権教育を行う。

【健康教育の推進】
 ○発達段階に応じ、感染症の知識を身に付け、感染防止のために正しく判断し、行動する力を養う。
 ○たくましい心と体づくりを目指し、体育、保健指導・保健学習、食育指導を柱とした健康教育を推進する。

具体的な取り組み

- ① 効率的かつ効果的な授業
 - ・学年団として授業の共有化・共通化を図る。
 - ・30分を1単位とした授業方法の構築
 - ・「学校授業」と「家庭学習」を効果的に組み合わせる。
 - ・ICTを効果的に活用した新しい授業スタイルの構築
 - ・学習の習得状況の的確な把握と対応 等
- ② 思考力・判断力・表現力の育成
 - ・授業における場面設定の工夫
 - ・児童個人が学習課題を設定した探究的な学習の実施（総合的な学習の時間、夏期休業に20時間程度）
 - ・school e-libraryを活用した読書活動の推進 等

- ① 心の安定を目指した学校生活・学級経営
 - ・児童の心の状態の日常的な把握（コミュニケーション、アンケート、保護者からの相談等）と必要に応じた手立て（教育相談員、SC、SSWの活用等）
 - ・様々な制約がある中でも、児童が夢や希望をもって学校生活を送ることができるような指導の工夫 等
- ② 人権尊重を重視した学年・学級経営
 - ・これまでの人権教育の取組（研究主題「かかわる一人とこととー」、特別支援教育、人権標語・作文等）を継続し、工夫・発展させる。
 - ・感染症対応後に生じるであろう、新たな人権課題に対する早期対応を組織的に行う。等

- ① 感染症の未然防止
 - ・体育「保健」や月1回の「保健だより」、学級活動等を通して、感染症に対する正しい知識を身につけさせるとともに、よりよい行動について考えさせる。
 - ・毎日の健康観察表への記録から、自己の体調について把握させる。等
- ② たくましい心と体づくり（免疫力を高めるために）
 - ・体育「運動」では、特に、持久力（長縄とびや持久走）を向上させるとともに、最後まで粘り強く取り組む気持ちを育てる。
 - ・体育「保健」学習を計画的・効果的に行う。
 - ・「保健だより」（月1回配布時）による保健指導
 - ・「給食だより」（月1回配布時）による食育指導 等

基盤

- プロとして高い専門性・指導力をもち、協働する職員集団
- ① 学年団制による一体型の学年経営
 - ② 諸課題を解決する柔軟な組織運営・編成
 - ③ 職層に応じたOJTの推進
 - ④ 自己のキャリアプランに応じた成長
 - ⑤ ワークライフバランスのとれた業務の取組